

<報道資料>

※本資料は、9月26日(現地時間)に発表された英語版プレスリリースの抄訳です。

2017年10月5日

## ウエスタンデジタル、Data Forever の設計思想に対応した 「ActiveScale™ Release 5.1」を発表

ActiveScale Release 5.1 で導入される主要な機能により、  
将来にわたって使用できる大規模ストレージを実現し、TCOを大幅に削減

データストレージ技術とソリューションを提供するグローバルリーダーであるウエスタンデジタルコーポレーション(NASDAQ:WDC、以下、ウエスタンデジタル)は本日、Data Forever の設計思想をさらに推し進めたオブジェクトストレージ ActiveScale™ の新機能、5.1 を発表しました。競争力の向上を目指す企業は、長期にわたり蓄積された大量のデータから有意義な知見を得ています。ActiveScale Release 5.1 は、最大 52 ペタバイトまでのシームレスなスケラビリティと、長期的なデータ保管に必要となる優れたデータ堅牢性によって、お客様の Data Forever 戦略の実現を支援します。

データストレージの拡張は、システムを停止させずに素早く行う必要があります。従来型アーキテクチャの多くはデータを孤立したサイロとして、保存・拡張を行うため、最新のテクノロジーを生かしたTCOの向上が図れず、または拡張に伴ったパフォーマンスの予測が不可能となっています。ActiveScale Release 5.1 の Data Forever の設計思想では、パフォーマンスやデータ堅牢性、あるいはTCOを犠牲にすることなく、シームレスな拡張が可能になります。

Enterprise Strategy Group (ESG) 社でプラクティスディレクター兼シニアアナリストを務めるマーク・ピーターズ氏は、「ウエスタンデジタルは、オブジェクトストレージの利点と『Dynamic Data Placement』機能を組み合わせることで、お客様に Data Forever として、貴重なデータの保存だけでなく、高いアクセラリティを提供しています。ActiveScale Release 5.1 は素晴らしい弾性・復旧機能を備えたプラットフォームであるとともに、容量拡張時には、ユーザーを特定のハードウェアに固定することも、フォークリフトを使ったアップグレード作業やリバランシングも必要としません。膨大なデータ容量を活用して、さらなるビジネスバリューを得られます」と述べています。

ActiveScale Release 5.1 は、企業が必要としているシームレスな拡張やデータの整合性を新しい機能とアーキテクチャによって提供し、お客様の複数世代にわたるストレージシステムで蓄積されたペタバイトレベルのデータ量を経済的に保存、保護、アクセスできるようにします。ActiveScale Release 5.1 アーキテクチャの新しい機能は以下の通りです。

- **「Dynamic Data Placement」** – リバランスなしでもパフォーマンスやデータ堅牢性を犠牲にすることなく、単一のネームスペースでアップグレードや容量追加が停止することなく、かつ容易に可能です。これによりお客様は、新世代のストレージを容易に統合し、TCOを改善することができます。
- **可変ストレージ容量** – 異なる容量のデバイスを、システム内、システム間で使っても、シームレスなデータ堅牢性と拡張性を保証することで、お客様はドライブやシステムを複数世代に渡ってハードウェアの拡張やアップグレードができます。
- **単一のグローバルネームスペースにおけるシームレスなスケールアップ・スケールアウト機能** – 複数のラックやデータセンターにわたる容量の拡張をシンプルにします。
- **オブジェクトのバージョンニング** – ユーザーエラーやサイバー空間の脅威から、データのシンプルな復旧をサポートし、さらなるデータ堅牢性の向上を図ります。

- **データ自動修復機能(イレージャーコーディング)のパフォーマンス向上** – パフォーマンスの向上により、生産性が改善します。

サンダンス・インスティテュートのテクノロジーサービスのディレクターであるジャスティン・シモンズ氏は、「サンダンス・インスティテュートと、私たちがサポートしている映像作家にとって、我々の歴史を保存することは極めて重要です。ウエスタンデジタルは、ペタバイト規模まで拡張可能で、永久に資産を維持する保存用システムを、手ごろな価格で提供する唯一の企業です。アーカイブを一元化することで安全な検索やアクセスを可能とし、保存に関する組織全体の問題の解決、将来に向けた拡張性の高いソリューションを得ることができます」と述べています。

ウエスタンデジタルのデータセンターシステムビジネスユニットでゼネラルマネージャーを務めるフィル・プリンジャーは、「ActiveScale Release 5.1 は、将来に向けて大幅に低減した TCO で容量を提供し、データ保全の経済性に根本的な変化をもたらします。新しいアーキテクチャによって、データセンターマネージャーは、新たなストレージ容量への移行や ActiveScale Release 5.1 ハードウェアのリリースを容易に行えます。また ActiveScale Release 5.1 は、Dynamic Data Placement 機能とシンプルかつ柔軟な容量拡張機能により、競合するアーキテクチャの抱えるホットスポット問題を排除し、ストレージ運用コストの効率性や有効性に関する限界を押し広げます」と述べています。

ActiveScale Release 5.1 には、最新の Dynamic Data Placement テクノロジー、イレージャーコーディングのアップデート、拡張およびバージョン機能を備えた ActiveScale Release 5.1 の新しいアーキテクチャが採用されており、間もなく販売開始となります。

ウェブキャストを再生するにはこちらをご覧ください。

[www.hgst.com/datalivesforever](http://www.hgst.com/datalivesforever)

ActiveScale のシリーズの詳しい情報についてはこちらをご覧ください。

<https://www.hgst.com/products/systems>

WesternDigital をフォローしてください。(英語)

[Twitter](#), [LinkedIn](#), [IT Blog](#), [Facebook](#)

## ■ウエスタンデジタルについて

ウエスタンデジタル(NASDAQ:WDC)は、データを作成、活用、体験、保存するためのストレージ技術やソリューションを提供する業界リーダーであり、お客様志向のイノベーションを取り入れた、高効率で柔軟性が高く、高速、高品質で魅力的なストレージソリューションを幅広く提供することによって、変化を続ける市場ニーズに対応しています。ウエスタンデジタルの製品は、HGST、サンディスク、および WD のブランドで OEM や代理店、リセラー、クラウドインフラストラクチャ・プロバイダーに提供され、一般消費者向けにも販売されています。詳細については、[www.hgst.com](http://www.hgst.com)、[www.wd.com](http://www.wd.com)、[www.sandisk.com](http://www.sandisk.com) をご覧ください。

---

\* 1GB=1,000,000,000 バイト。1TB=1,000GB(1,000,000,000,000 バイト)、1PB=1,000TB(1,000,000,000,000,000 バイト)。実際に利用できる容量はこれより少なくなります。

© 2017 Western Digital Corporation or its affiliates. All rights reserved.

Western Digital、Western Digital ロゴ、ActiveScale および Data Makes Possible は、米国およびその他の国における Western Digital Corporation またはその関連会社の登録商標および商標です。その他の商標も特定の目的のためのみに使用されるものであり、各権利者によって商標登録されている可能性があります。

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ＞

ウエスタンデジタル広報担当：鈴木

TEL: 0466-98-4044 FAX: 0466-98-3171

クレアブ株式会社

ウエスタンデジタル広報担当：石黒、渡辺、宮津

TEL: 03-5404-0640 FAX: 03-5404-7120

E-mail: [WDCJapan@kreab.com](mailto:WDCJapan@kreab.com)